

オホーツク地区 令和6年度 オホーツク地区校長会研究推進報告

1 研究主題

『未来を切り拓き ともに生きるよりよい社会を創り出す 日本人を育てる学校教育の推進』
～オホーツクの大地に誇りと愛着をもち、ともに未来を拓き社会を創造する子どもを育む学校経営の推進～

2 研究推進の概要

(1) 第52回オホーツク管内校長会教育研究大会

【期 日】 令和6年8月16日（金）

【会 場】 北見市 ホテル黒部

【内 容】 研究主題に基づき、4領域26課題を設定し、4分科会で小・中各1本の提言に基づいて課題の究明を図った。

①『学校経営』

子どもたちが生きる未来社会を見据えた明確な学校経営ビジョンをもち、活力ある学校組織と経営運営を推進していくための具体的方策を明らかにする。

②『教育課程』

校長のリーダーシップのもと、激動の時代を豊かに生き、未来を開拓する多様な人材を育成する調和のとれた教育課程の編成・実施・評価・改善について具体的方策を明らかにする。

③『指導・育成』

教職員の資質・能力の向上を図り、展望や参画意識をもたせ、学校の教育力を向上させる研究・研修体制を確立させ、学校の中枢を担うミドルリーダーや次代の学校経営を委ねる管理職人材を、学校現場において育成していくための具体的方策を明らかにする。

④『危機管理・教育課題』

子どもたちの安全・安心を確保し、地域・家庭・関係機関と連携し対応する危機管理体制づくりや命を守る安全教育を推進するために、校長が果たす役割と指導性について具体的方策を明らかにする。

(2) ブロック別校長会研究会（5ブロック）

①網走ブロック	令和6年7月26日（金）	担当	斜里・清里町	会場	エコーセンター
②北見ブロック	令和6年7月30日（火）	担当	訓子府町	会場	訓子府町公民館
③遠軽ブロック	令和6年7月30日（火）	担当	遠軽町	会場	ホテルサンシャイン
④紋別ブロック	令和6年7月30日（火）	担当	滝上町	会場	紋別市文化会館
⑤北見市ブロック	令和6年7月26日（金）	担当	北見市	会場	北見市端野総合庁舎

(3) 研究集録の作成 ～ 研究のまとめ

(4) 全日中研究大会への参加 管内より5名が岩手大会に参加

3 研究の成果と課題

(1) 第52回オホーツク管内校長教育研究大会についての成果と課題

①日程に関して、午後の半日で行う開催の在り方について肯定的な意見がほとんどであった。

②提言資料や討議の柱、打ち合わせ会議資料、分科会司会原稿等の資料を今年度よりクラウドを活用したことで、データの活用の利便性の向上や印刷・準備等の作業の軽減を図ることができた。

③これまで2度の分科会のグループ協議を行っていたものを1本に統一し、限られた時間の中で、集中して協議を行うことができた。

④学校数の減少（義務教育学校の小学校扱いを含む）に伴う会員数の減少と大会規模のバランスについては、今後改善していくべき大きな課題である。次年度すぐということにはならないが、現在の4分科会を3分科会に見直すなどの取組を進める時期に来ている。

(2) その他

大きく研究大会の日程短縮を行ったことや、儀礼的なことの簡素化、資料のデータ化やクラウドを通じた配信など、研究の質を維持しつつ様々な面での改善を図ることができたと考える。一方で分科会の規模の改善など大きな課題も残されており、見通しをもって取組を進めなければならない。

1 研究主題

『未来を切り拓き ともに生きるよりよい社会の創り手を育てる学校教育の推進』
～オホーツクの大地に誇りと愛着をもち、ともに未来を拓き社会を創造する子どもを育む学校経営の推進～

2 研究主題設定の趣旨

これからの社会は、情報化やグローバル化が加速度的に進展するとともに、絶え間ない技術革新による様々な社会構造等の変化や価値観の多様化が一段と進み、予測困難で急速な変化が起きると言われている。第4次産業革命とも呼ばれているモノのインターネット化（IoT）、ビッグデータ、新たなコンテンツを創り出すことが可能になる生成AIの進化、ロボットなどの新しい技術革新は、我々の日常にも既に浸透してきており、社会や教育に大きな変化をもたらしている。一方で、少子高齢化、人間関係の希薄化、家庭の教育力の低下、子どもの人権や貧困など多岐にわたる問題が山積している。さらに、力や威圧による一方的な現状変更の動き、感染症や環境問題、エネルギー資源問題など、地球規模で人類全体が共通して直面する課題も増大している。このような社会変化の中では、一人ひとりが夢や希望をもち、自らの能力や可能性を信じ、初めて出会う様々な問題にも主体的に挑戦し、解決したり、新たな価値を創造したりする力や、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働的に議論し、納得解を導き出しながら様々な社会の変化を乗り越えていく生き抜く力の育成が重要である。

そのためにオホーツク管内校長会は、これまでの研究成果を受け継ぎ、研究の基本主題である『未来を切り拓き ともに生きるよりよい社会の創り手を育てる学校教育の推進』のさらなる追求を目指すとともに、学校経営の責任者である校長の果たすべき役割と指導性を究明しようとするものである。

3 研究内容

(1) 『学校経営』

子どもの未来をしっかりと見据えた学校経営ビジョンを掲げ、創意と活力に満ちた学校経営を推進していくための具体的方策を明らかにする。

(2) 『教育課程』

校長のリーダーシップのもと、創意工夫に基づく調和のとれた教育課程の編成・実施・評価・改善について具体的方策を明らかにする。

(3) 『指導・育成』

教職員の資質・能力の向上を図り、校務運営の中核を担うミドルリーダーや次代の学校経営を委ねる管理職人材を、学校現場において意図的・計画的に育成していくための具体的方策を明らかにする。

(4) 『危機管理・教育課題』

子どもたちの安全・安心を確保し、地域・家庭・関係機関と連携し対応する危機管理体制づくりや命を守る安全教育を推進するために、校長が果たす役割と指導性について具体的方策を明らかにする。

4 研究推進計画

(1) 第53回オホーツク管内校長会教育研究大会

① 期 日 令和7年8月22日（金）

② 場 所 北見市 ホテル黒部

③ 内 容 講演、4分科会研究協議（グループ討議を中心に、教育局及び退職校長会からの助言）

(2) ブロック別校長研究会（全5ブロック）

① 網走ブロック 令和7年7月24日（木） 担当 網走市 会場 エコーセンター2000

② 北見ブロック 令和7年7月29日（火） 担当 置戸町 会場 置戸町中央公民館

③ 遠軽ブロック 令和7年7月29日（火） 担当 佐呂間町 会場 メトロプラザ

④ 紋別ブロック 令和7年7月28日（月） 担当 紋別市 会場 紋別市文化会館

⑤ 北見市ブロック 令和7年7月24日（木） 担当 北見市 会場 北見市端野総合庁舎

5 研究組織

管内校長会研修部（部長1・副部長1・部員3）

各ブロック研修部長（全5ブロック）

（提言作成への支援・協力）

市町村研修部長（全18市町村）

提言作成（小4・中4）